



前日の雨天とはうってかわって、青い空がどこまでも広がる先月24日、卒業式が行われました。この卒業生のなかからも、いつの日か「官」または「産」の立場で本学の門をくぐる人たちがいるのだと思うと、わくわくしてきます。

## 1. 新しい推進室スタッフで始動しています。

平成17年度より副学長（企画・研究担当）に就任されました清水哲郎教授を産学官連携推進室室長として本年度も、事務局研究協力課・各学部、大学院、社会連携担当教員とで室を構成します。これまでの2年間の活動をもとに選択と集中を進め、みなさんとともに「元気な大学」となるようスタッフ一同尽力いたします。よろしくお願いいたします。平成17年度第一回推進室会議にてスタッフ写真を撮り次号に掲載します。

## 2. 「奈良女子大学 研究紹介集・シーズ集 2004」印刷あがりしました。



紙質を換えて昨年より薄型化に成功！

3月31日に「奈良女子大学 研究紹介集・シーズ集 2004」が本学に納品され、4月2日・3日の「第2回奈良県“暮らし”と“環境”フェスティバル」より配布を開始いたしました。昨年度は、すべての教員・職員の方に1冊づつ配らせていただきましたが、今回は**希望される方のみ配布させていただきます。ご希望の方は（できれば課内で必要部数を取りまとめてください）、研究協力課まで取りにきてください。**学外の方には、今年度も郵送料のみ実費にて送付させていただく予定です。



「奈良女子大学 研究紹介集・シーズ集 2004」では、理学部化学科の先生方による研究紹介シートのご提出が100%となりました。化学科の先生方には、ささやかなプレゼントをお渡しします。



来年度発行予定の「奈良女子大学 研究紹介集・シーズ集 2005」では、今回シート更新のなかった方は是非、更新してください！！。お手伝いは喜んでいたします。

## 3. 「第2回奈良県“暮らし”と“環境”フェスティバル」に参加しました。



「第2回奈良県“暮らし”と“環境”フェスティバル」が、4月2日（土）、4月3日（日）の2日間にわたり（各日とも10時～17時）、奈良県文化会館で開かれました。

本学からは、共生科学研究センターと産学官連携推進室との共同出展という形にて「暮らし」と「環境」に関する本学の研究紹介を行いました。

あいにくの曇天でしたが、家族連れを中心に入場者の足はとぎれることがありませんでした。家族連れ中心ということで、ミニ実験的なものや、環境に関するクイズラリーなどを入れればよかったな・・・とは、コーディネート雑感。

<大石、村松、片野、清水、吉田、小田原、川村、藤野（産学官連携推進室）>



子供には「ジャンボタニシ」が大人気



木製ハイブリッドカー！？

奈良高専コーナーです。学生さんが実験紹介してました。人気コーナーでした。

## 4. メールマガジン好評です。



金曜日に、「主として卒業生の方対象」「主として企業の方対象」として交互に発行しておりますメールマガジンですが、多くのかた

から、「楽しみにしている」というお話をお聞きして、まずまずのスタートのようです。「主として卒業生の方対象」のメールマガジンでは、大学の季節便りとして指定のWEBアドレスを入力いただけますと、スナップ写真もご覧いただけます。左は4月1日に配信いたしました第4号です。

大学HPのトップより、「卒業生・同窓生のみなさんへ」をクリックいただきますと 卒業生メールマガジン の入り口になっております。もちろん在校生、職員、一般の方もご登録いただけます。

### 読者の声より

私たちが今大学がどのようになっているのか、学生の所属学科を聞いても何を勉強しているのかわからないことも多く、もっと大学の近況も学ばべきと思っておりました。今回このようなメールマガジンができて大変ありがたく、早速読ませていただきたいと存じます。

### 前連携推進室 室長ご挨拶

先月誕生したばかりの奈良女子大学メールマガジンは、幸い皆様からご好評をいただき嬉しく思っています。私はこの3月末日をもって、奈良女子大学を退職いたしますが、副学長在任中は各方面から暖かいご支援をいただきました。奈良女子大学の今後のますますの発展をお祈りしています。 重定南奈子

## 5. 文理融合・文系産学連携促進セミナーに出席しました。

3月8日に、京都産学公連携機構主催の「文理融合・文系産学連携促進セミナー」に出席しました。京都産学公連携機構とは、43の大学・産業支援機関・公的機関が参画するオール京都体制の産学連携推進組織で、文理融合・文系分野の産学連携ファンドを提供している機構です。経済産業省もまたその独自の取り組みに注目し、省としても同様の助成を全国的に展開したいと検討中だそうです。



社文系・芸術系の分野としては企画提案（商品企画・開発・用途提案など）、プロダクトデザイン（製品デザインの提供など）、マーケット調査（需要予測、市場評価、購買意識調査、データ収集など）、ソフト開発（コンテンツ制作、コンピュータシステム開発など）、販路開拓（HP作成、販促グッズ・手法の開発など）、人材教育（MOT教育、能力開発カリキュラム、講師派遣など）、アドバイザー（経営課題の分析、改善提案など）、コミュニティ形成（地域おこしなど）があります。

当日は、人材育成のためのソフトウェア開発（主として就職前の学生が自己分析を行い、業種別に求められる人材の能力パターンとの同調性を視覚的に認識する）や、京都伝統工芸品を素材にデジタル加工を施した商品開発例などが報告されました。産学連携では理工系分野が注目を浴びておりますが、地域経済の長期低迷期にあり、ソフトな付加価値創出の重要性が増大しています。本学も歴史・文化を背景とした伝統技術、文化技術が育まれた地にあり、これらの「ソフトな知」を活用したモノづくり、まちづくりに社文系の研究を是非活用させたいと思います。 <藤野>

## 6. 平成17年度シーズ育成試験（委託費）

連携推進室レター VOL. 14 に掲載しましたが、文部科学省（科学技術振興機構）より「平成17年度シーズ育成試験（委託費）」の助成が検討されております。これは、コーディネータが発掘した大学等のシーズを実用化に向けて試験研究を行うもので、200万円/1件を全国で500件採択予定です。まだ公募要綱はありませんが、事前に準備しておきたいと思っております。是非獲得したいと思われまます方は、産学連携コーディネータ 藤野（3734 c-fujino@cc.nara-wu.ac.jp）までご連絡ください、4月中。よろしくお願いいたします。

## 7. 今後の予定

6月25日 - 26日 第4回産学官連携推進会議

於：国立京都国際会館

（主催：内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、  
日本経済団体連合会、日本学術会議）



記念館や校章のイラストレータ用データあります。ご利用ください！！(コ)